

収	受
令和	5.4.31
環境第	号
環境第	
吹田市	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年5月31日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市西御旅町5番58号

氏名 日本純良薬品株式会社
代表取締役社長 八上 剛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6381-3021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本純良薬品株式会社
事業場の所在地	大阪府吹田市西御旅町5番58号
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	製造品出荷額：128000万円
③従業員数	44人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①～⑥参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

		【目標】	別紙 1, 2 のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
現状：前年度(2021年度)実績量
計画：今年度(2022年度)計画量

単位:トン/年

コード	産業廃棄物の種類 名称	排出増割に関する事項		自らの中間処理に関する事項				自らの埋立処分又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物 の量(前年度実績値の④-⑤)				処理委託に関する事項					
		排出量 (前年度実績値の①)		自らの回収を行う 産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自らの中間処理により処理す る産業廃棄物の量 (前年度実績値の②)		自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行う産業廃棄物 の量(前年度実績値の④-⑤)		低品位処理業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑩)		再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑪)		認定焼却業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定焼却業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量 (前年度実績値の⑭)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
100	燃え殻																
200	汚泥	5,097	5,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	5,097	5,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
300	廃油	0,082	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,082	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
400	廃酸																
500	廃アルカリ	1206,840	1200,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1206,840	1200,000	799,960	800,000	0,000	0,000	0,000	0,000
600	廃ガラス・プラスチック	10,400	11,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	10,400	11,000	10,295	10,000	0,000	0,000	0,000	0,000
700	紙くず																
800	木くず	1,990	2,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1,990	2,000	1,990	2,000	0,000	0,000	0,000	0,000
900	繊維くず																
1000	動植物性残渣																
1100	ゴムくず																
1200	金属くず																
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4,800	4,800	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	4,800	4,800	0,000	0,000	4,800	4,800	0,000	0,000
1400	塩素系																
1500	がれき類																
1600	動物の糞尿																
1700	動物の死体																
1800	ばいじん	0,019	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,019	0,000	0,019	0,000	0,019	0,000	0,000	0,000
3520	乾電池																
	合計	1229,228	1222,800	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	1229,228	1222,800	817,443	817,000	4,819	4,800	0,000	0,000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合は限り、至極へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数値に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項 **第1面のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

別紙⑦⑧参照

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 弊社でよく使用されるアルコール系の溶媒については、回収、再利用で廃棄物の排出の発生をおさえている。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き、アルコール系溶剤の回収、再利用を行い、廃棄物の排出の発生をおさえる。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃アルカリ、汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、木くず、廃蛍光灯、金属くずはそれぞれに分別、保管を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、廃棄物の分別を行う。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 委託業者に対して、定期的に処理状況の現地確認を行っている。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き、処理状況の現地確認を行う。

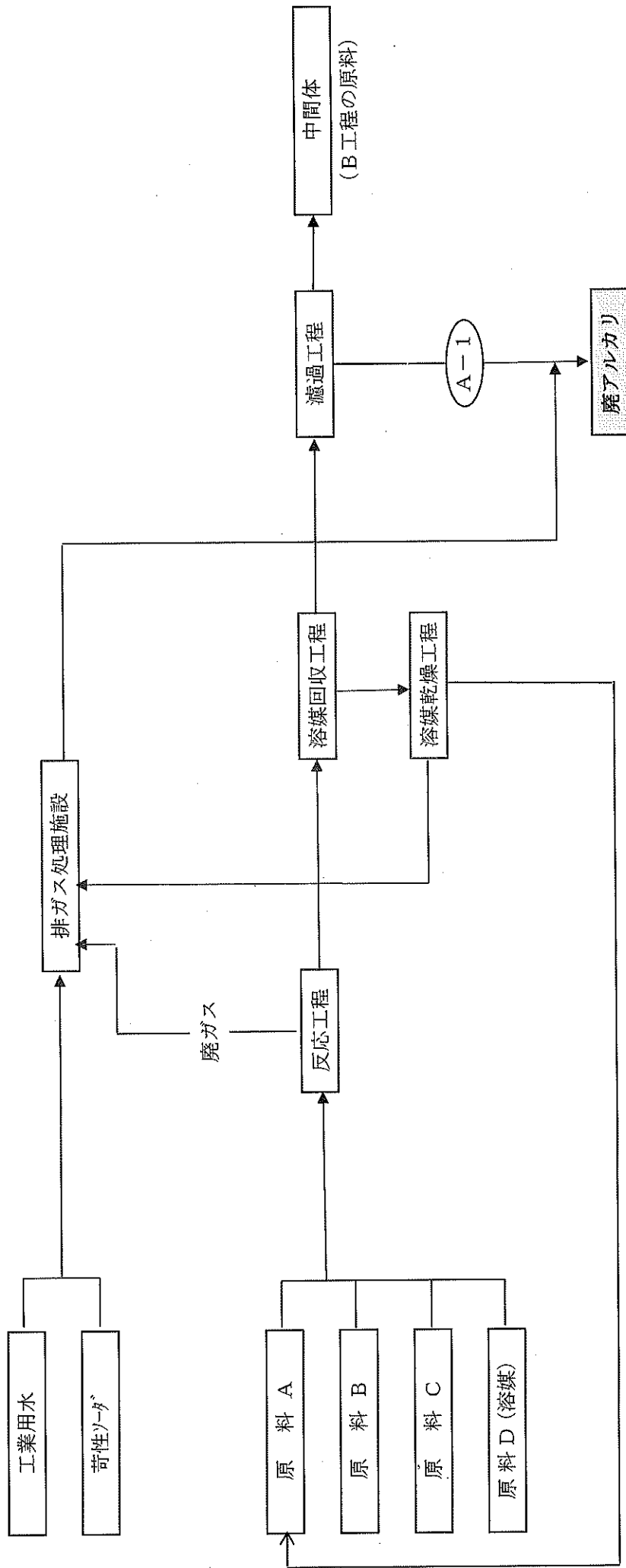
発生工程フローシート

多品種少量生産のため、廃アルカリ発生工程の代表モデルAとして記載する。

分類: 500

名称: 廃アルカリ

発生工程A



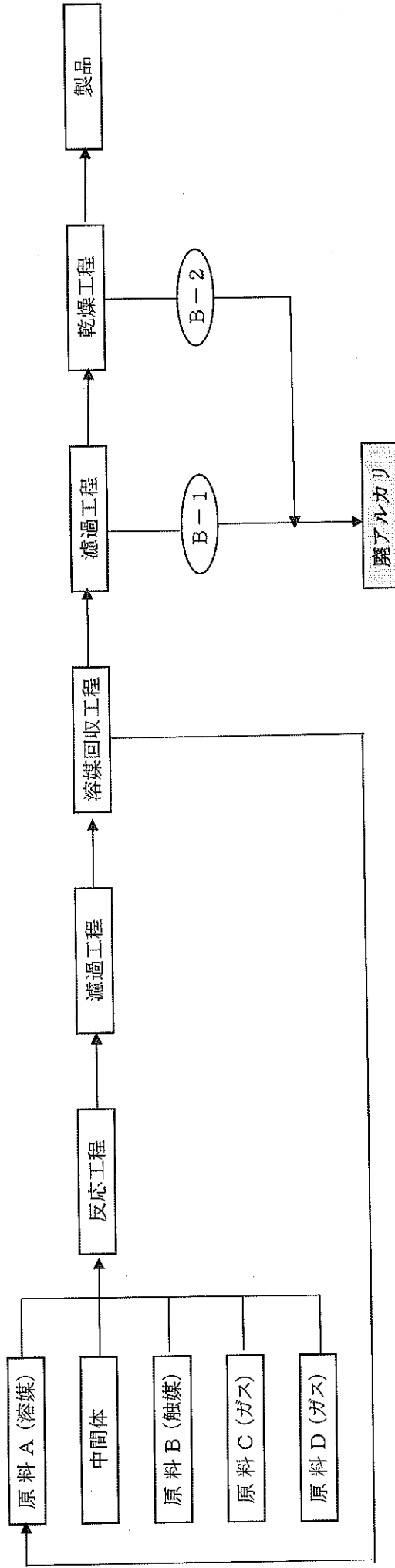
発生工程フローシート

、多品種少量生産のため、廃アルカリ発生工程の代表モデルBとして記載する。

分類:500

名称:廃アルカリ

発生工程B



発生工程フローシート

多品種少量生産のため、廃アルカリ及び廃油発生工程の代表モデルCとして記載する。

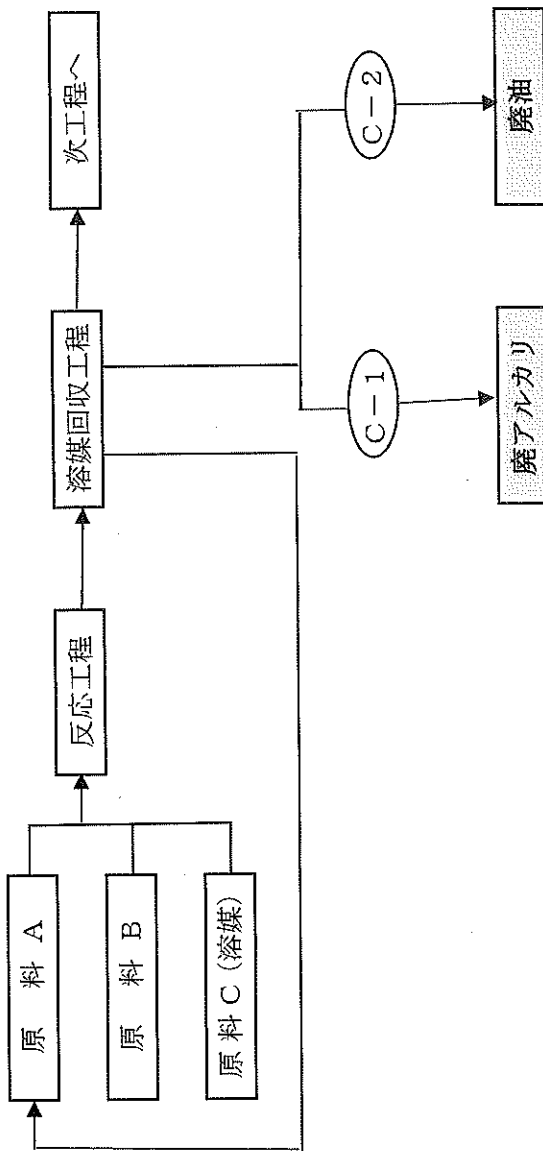
分類: 500

分類: 300

名称: 廃アルカリ

名称: 廃油

発生工程C



発生工程フローシート

多品種少量生産のため、廃アルカリ、廃プラスチック、ガラスくず及び汚泥発生工程の代表モデルDとして記載する。

分類:500

分類:600

分類:1300

分類:200

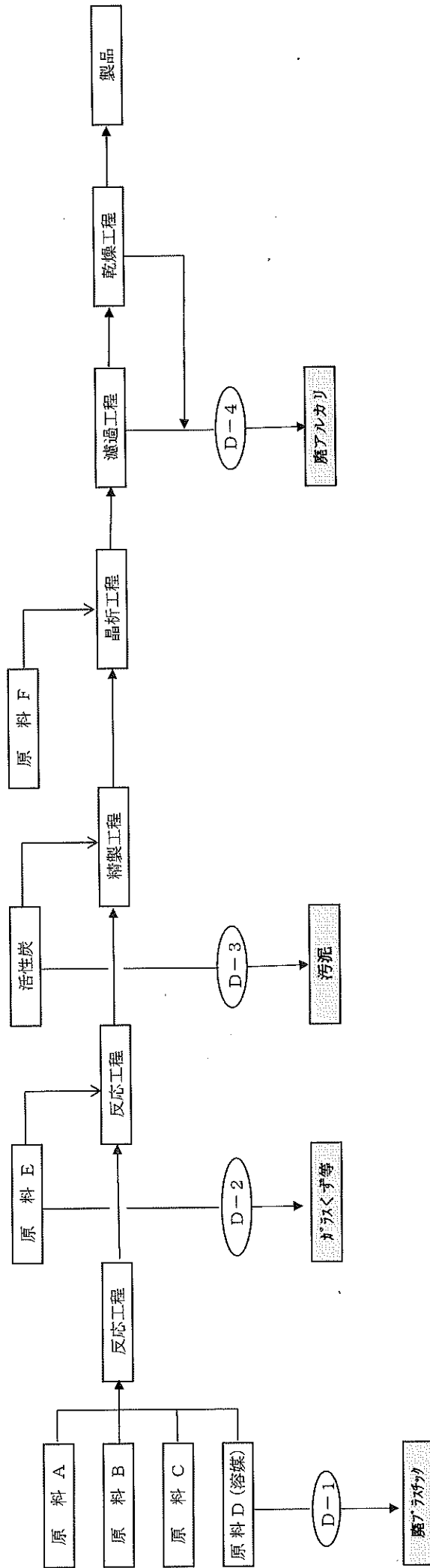
名称:廃アルカリ

名称:廃プラスチック

名称:ガラスくず等

名称:汚泥

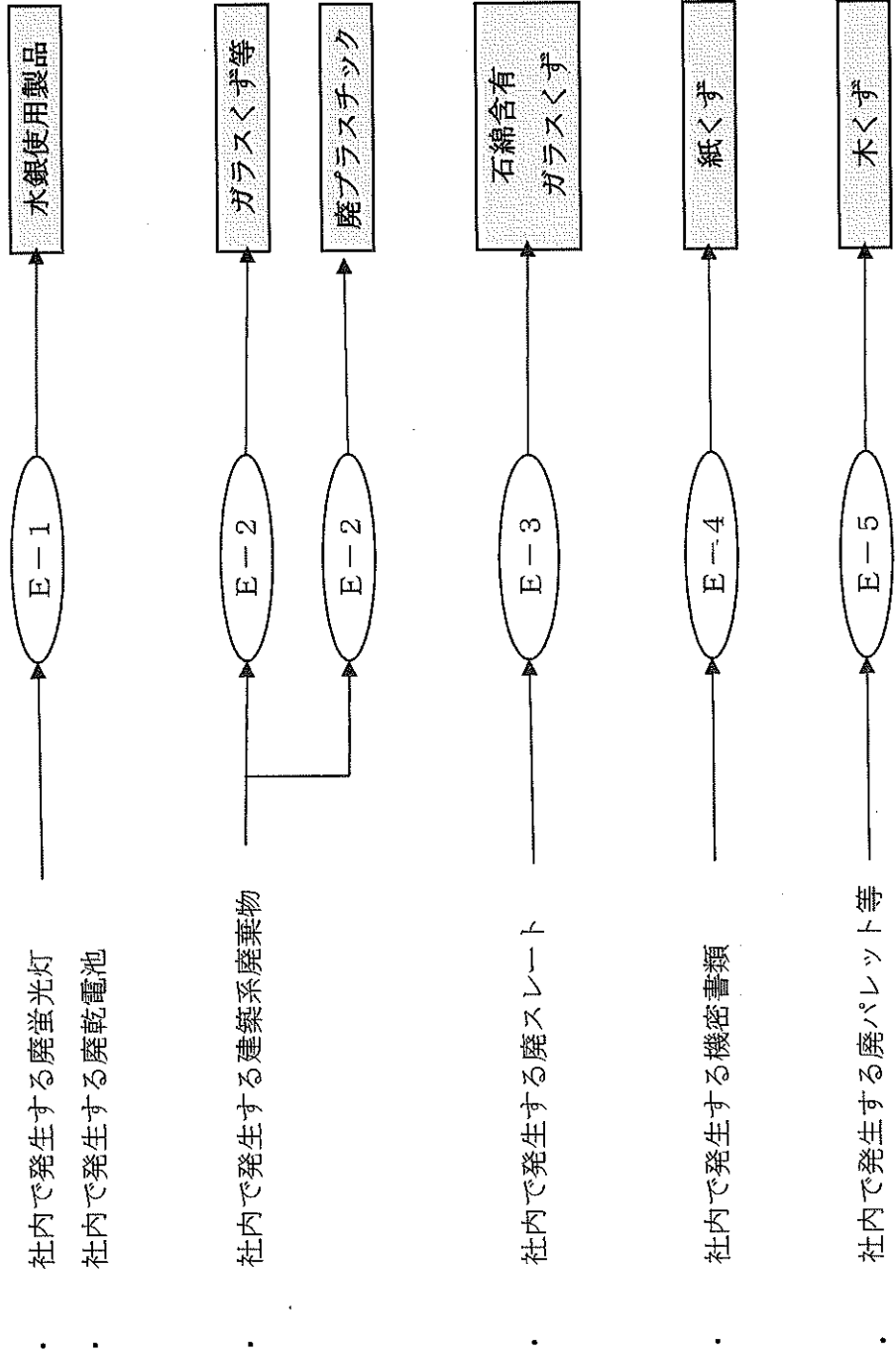
発生工程D



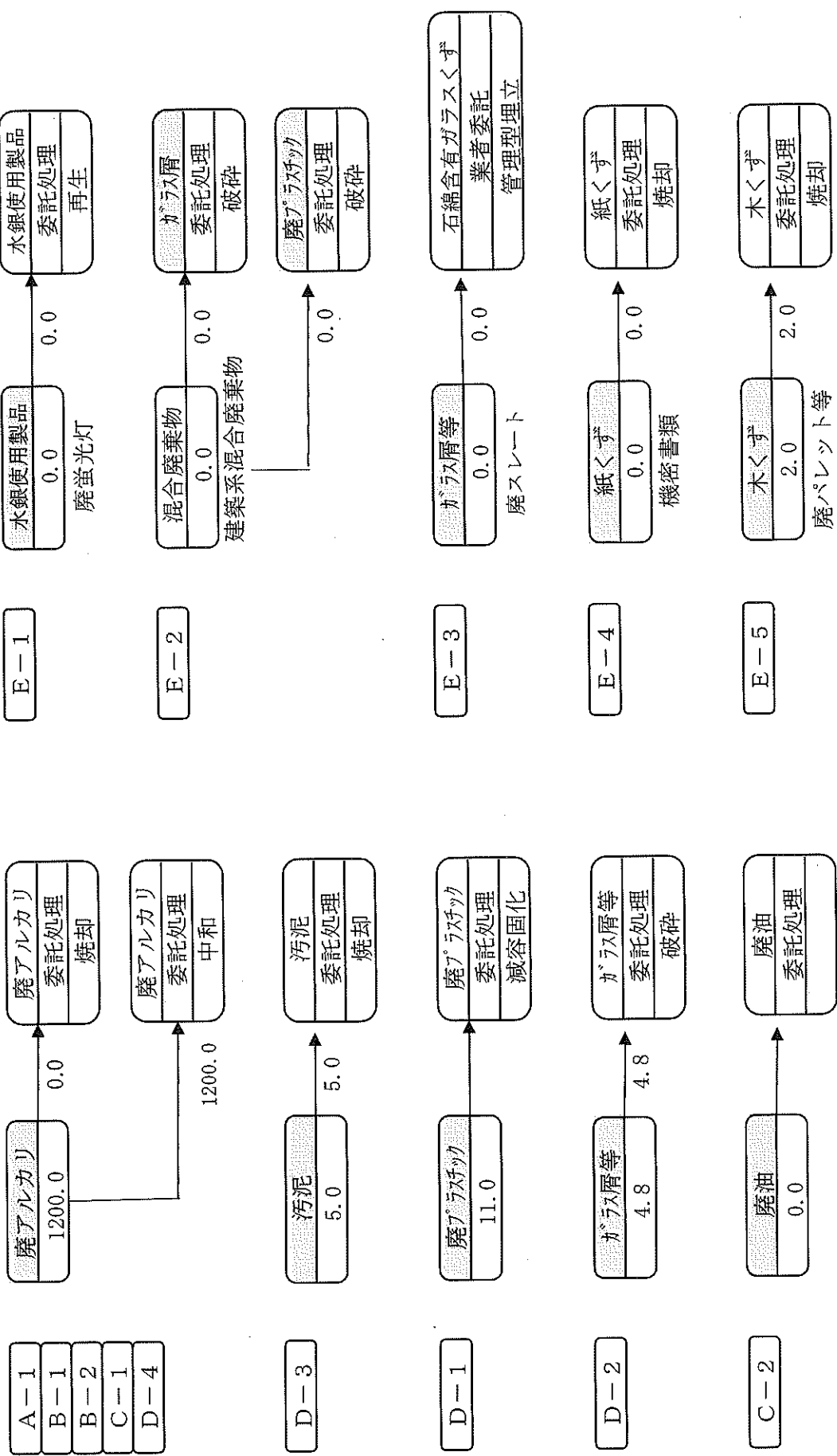
発生工程フローシート

毎年発生する廃棄物ではなく、ある程度、量がたまたば産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。

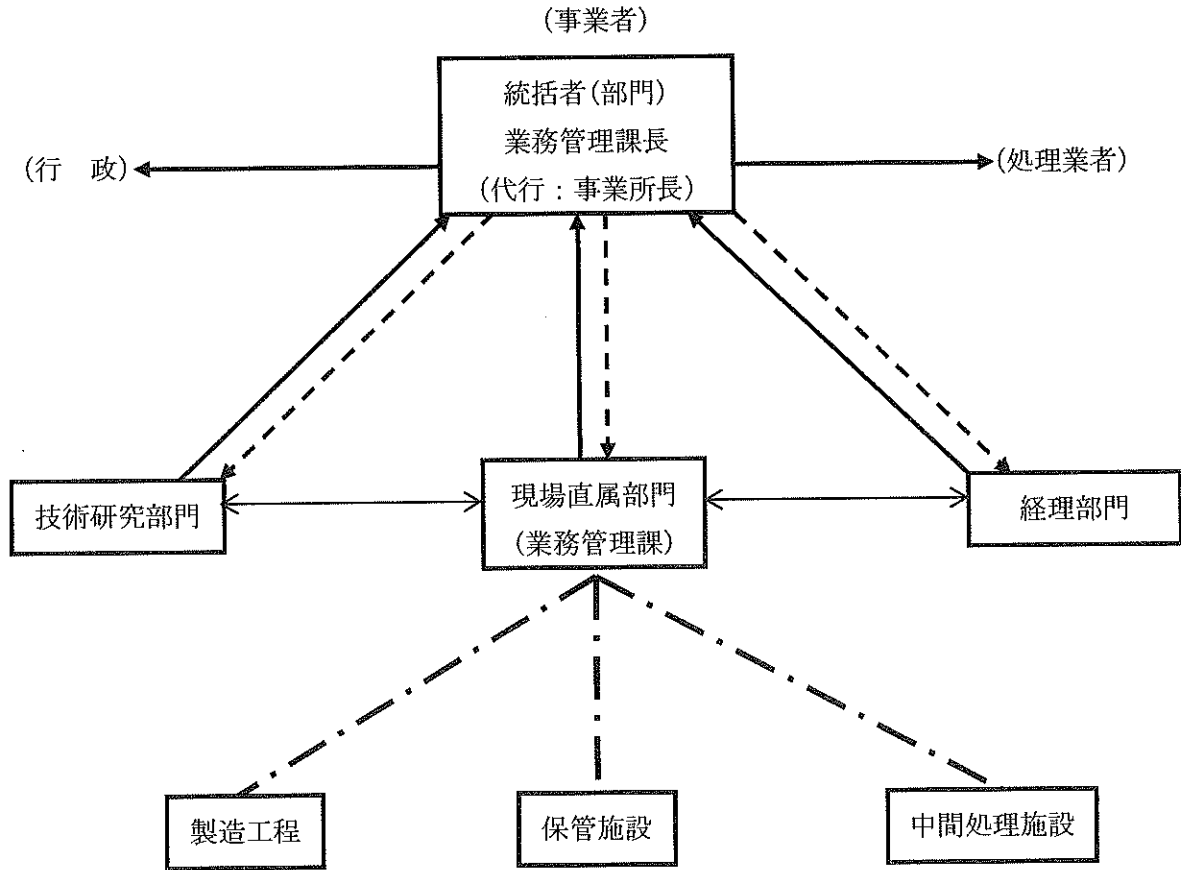
E その他



処理工程フローシート



別添資料 社内組織図及び各部署の役割
[社内組織図]



- 報 告
- ←———— 相互連絡
- - - - -→ 指 示
- · - · - · 直 轄

[各部署の役割]

部 署	役 割
<p style="text-align: center;">A 統括者 (部門)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・ 処理施設（事業場内・外）の定期的査察 ・ 行政に対する報告 ・ 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票（電子マニフェスト）等の管理 ・ 中間処理施設の稼動状況の把握、記録の作成等 ・ 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・ 各部署間の調整及び指示 ・ 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
<p style="text-align: center;">B 現場直属 部 門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・ 各現場の施設の維持管理点検等 ・ 保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・ 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 ・ 上記内容をAに報告
<p style="text-align: center;">C 技術研究 部 門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造工程の研究開発 ・ 産業廃棄物処理技術の研究開発 ・ 産業廃棄物減量化手法の調査研究 ・ 上記内容をAに報告
<p style="text-align: center;">D 経理部門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・ 委託料金の支払方法による業者管理 ・ 上記内容をAに報告